慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	活動実績
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター
Publication year	2016
Jtitle	慶應義塾大学DMC紀要 (DMC Review Keio University). Vol.3, No.1 (2016. 3) ,p.71- 73
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	記録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO32002001-00000003-0071

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

Handpress World. xxx, 248 pp. (“Chapter 5: The Fust and Schöffer Office and the Printing of the Two- Colour Initials in the 1457 Mainz Psalter,” pp. 65–75 担当).

２．論文

池田真弓「ペーター・シェーファー出版『ラテン語本草』と『健康の庭』―15 世紀印刷本草の挿絵分析―」『鹿島美術研究』、32 号別冊、76-87 頁。

３．学会発表

Mayumi Ikeda, “Illustrating the *Gart der Gesundheit* of 1485,” 50th International Congress on Medieval Studies (Session 550, “Imagery in Medieval Herbals”), Western Michigan University, Kalamazoo, 17 May 2015.

４．講演・展覧会・ワークショップ等

池田真弓「『健康の庭』―本草挿絵の諸問題について」明治学院大学文学部芸術学科・明治学院大学言語文化研究所・ドイツ語圏美術史研究連絡網 主催シンポジウム『創造･伝達･記憶の場としての版画』、明治学院大学、2015 年 12 月 5 日。

石川尋代（DMC 研究センター特任講師）

３．学会発表

Yamato Miyashita, Hiroyo Ishikawa, Fumio Teraoka, and Kunitake Kaneko, "Catalogue: Graph Representation Of File Relations For A Globally Distributed Environment", Proceedings of the 30th Annual ACM Symposium on Applied Computing (SAC 2015), pp.806-809.

４．講演、展覧会、ワークショップ等

石川尋代，" 様々な記録を繋げる多面的アーカイヴ -MoSaIC の試み -", 慶應義塾三田キャンパス 1951：ノグチ・ルームの誕生をめぐって　慶應義塾の建築プロジェクト シンポジウム , 2015 年 11 月 .

記録

活動実績

● 4 月 1 日

大学学部入学式の収録・編集を実施

● 4 月 8 日

"Fukuzawa Yukichi & Harvard University" の動画を公開

● 4 月 17 日

情報の教養学「歴史の転換期と報道の使命」の収録・編集を実施

● 4 月 24 日

平成 27 年度慶應義塾大学新入生歓迎行事 大野慶人舞踏公演「花と鳥～内部と外部」収録・編集

● 5 月 13 日

情報の教養学「脳を知り , 脳を治す」の収録・編集を実施

● 6 月 5 日

文学部創設 125 年記念「カズオ・イシグロが語る」の収録・編集を実施

● 6 月 6 日

第 24 回 慶應義塾大学理工学部市民講座「ビッグデータ」の収録・編集を実施

● 6 月 13 日

文学部公開講座「伝えるしごと・ことばのしごと」の収録・編集を実施

● 6 月 17 日

情報の教養学「貧困を測る」の収録・編集を実施

● 6 月 20 日

文学部 125 年記念講演会および祝賀会の収録・編集を実施

● 6 月 27 日

第 3 回慶應マイボイスワークショップの収録・編集を実施

● 7 月 4 日
文学部公開講座「哲学カフェ」の収録・編集を実施

● 7 月 11 日
文学部公開講座「アプリ＜慶應時空ぷらっと＞と都市空間」の収録・編集を実施

● 7 月 18 日
文学部公開講座「美をめぐる物語」の収録・編集を実施

● 7 月 25 日
ニューヨーク学院 25 周年記念事業討論会の収録・編集を実施

● 7 月 30 日
慶應義塾大学が英国の MOOCs 配信事業体 FutureLearn に日本で初めて参加（DMC が担当）

● 8 月 1 日
理工学部オープンキャンパスの収録・編集を実施

● 8 月 26 日
福澤諭吉と慶應義塾に関する動画の撮影・編集を実施

● 8 月 28 日～ 9 月 1 日
PSi 2015 TOHOKU の収録・編集を実施

● 9 月 14 日
経済学部 125 年記念式典・講演会の収録・編集を実施

● 10 月 07 日
「ザ・デジタル・ジレンマ」のダウンロードを再開

● 10 月 10 日
SFC25 周年記念式典・上棟式の収録・編集を実施

● 10 月 13 日
福澤諭吉と慶應義塾に関する動画に日本語・英語字幕を追加

● 10 月 16 日
DCCJ/CineGrid-Tokyo 2015-4K デジタルシネマの出発から 15 年・いまメディアの未来を探る -　を共催

● 10 月 23 日
情報の教養学「昭和の歴史と戦争を考える」の収録・編集を実施

● 10 月 31 日
「病と舞踏」－ビショップ山田によるレクチャーワークショップ　の収録・編集を実施

● 11 月 2 日
通信教育学部オリエンテーション映像の収録・編集を実施

● 11 月 4 日
情報の教養学「日本経済は再生するか」の収録・編集を実施

● 11 月 24 日
「ＤＭＣ研究センターシンポジウム－第５回 デジタル知の文化的普及と深化に向けて－多面的アーカイヴから広がる新しいミュージアム世界」を開催。

● 11 月 26 日
理工学部情報工学科紹介ビデオを制作

● 11 月 27 日
FutureLearn, Nigel Smith 氏とのワークショップを開催

● 12 月 5 ～ 6 日
4K 徳島映画祭にて発表と展示

● 12 月 16 日
情報の教養学「次世代著作権～激増するコンテンツを握るのは誰か」の収録・編集を実施

● 12 月 29 日
FutureLearn コース 2 トレイラーの収録・編集を実施

● 1 月 8 日
FutureLearn コース 1 素材映像の収録・編集を実施

● 1 月 20 日
岩竹徹教授最終講義の収録・編集を実施

●１月 21 日
阿川尚之教授最終講義の収録・編集を実施

●１月 22 日
FutureLearn コース１シリーズ１トレイラーと素材映像の収録・編集を実施

●２月６日
野村亨教授最終講義の収録・編集を実施

●２月 27 日
竹中平蔵教授最終講義の収録・編集を実施

●３月８日
塾長、NUS 学長へのお祝いメッセージの収録・編集を実施

●３月９日
FutureLearn コース２イントロダクションの収録・編集を実施

●３月１１日
FutureLearn コース１イントロダクションの収録・編集を実施

●３月 18 日
FutureLearn コース１素材映像の収録・編集を実施

●３月 20 日
山本純一教授最終講義の収録・編集を実施

●３月 23 日
FutureLearn コース１素材映像の収録・編集を実施

●３月 24 日
FutureLearn コース２素材映像の収録・編集を実施

●３月 31 日
GIC センター設置授業（デモ）の収録・編集を実施

慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター規程

制定　平成 22 年３月 30 日
改正　平成 23 年３月 25 日
　　平成 26 年７月４日

（設置）
第１条　慶應義塾大学に，慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター（Research Institute for Digital Media and Content。以下，「ＤＭＣ研究センター」という。）を置く。

（目的）
第２条　ＤＭＣ研究センターはデジタルメディア・コンテンツに関連する研究教育活動を通して，慶應義塾の総合力を活用した人文科学，社会科学，理工学，医学などの融合による新しい知の創造と流通の国際的な先導を実現し，新たな産業，教育，文化，芸術分野等の創出に貢献することを目的とする。

（事業）
第３条　ＤＭＣ研究センターは前条の目的を達成するため，次の事業を行う。
１　デジタルコンテンツに関連する研究
２　デジタルコンテンツの国際的流通を促進するデジタルコンテンツ生成・蓄積・発信に関わる事業
３　デジタルコンテンツに関連する国際的な人材育成を目的とした教育事業
４　各事業の国際的な産官学連携を推進する事業
５　その他ＤＭＣ研究センターの目的を達成するために必要な事業

（組織）
第４条　①　ＤＭＣ研究センターに次の教職員を置く。
１　所長　１名
２　副所長　若干名
３　研究員　若干名
４　専門員　若干名
５　事務長　１名
６　職員　若干名
②　所長は，ＤＭＣ研究センターを代表し，その研究と業務を統括する。
③　副所長は，所長の命により，所長を補佐し，必要